

臨床実習Ⅳ 報告書

北海道医療大学 リハビリテーション科学部 理学療法学科 4年

学生番号

氏名

1. 臨床現場で実施されている理学療法の一連の過程について指導を受けたり、自分自身で経験したりするなかで気付いたことについて列挙すること

【臨床実習での経験を通じて深く理解したこと】

【臨床実習に向けて準備していて役立ったこと】

【評価や治療を実践するうえで、工夫するようになったポイント】

【実習指導者が行っていたことで、参考になったこと】

2. 実習を通して経験した症例について、複数の理学療法評価結果について統合と解釈を行い、少なくともひとつの具体的なプログラム立案に至る過程について記載すること

注：複数の理学療法評価結果とは、2つ以上の評価結果を指す。自分自身で実施した評価結果からまとめることが望ましいが、必要に応じて実習指導者から提示された評価情報を受けることも可とする。

【経験した症例に関する基本情報（原疾患、合併症、障害像、年齢帯、生活背景などを簡潔にまとめる）】

【抽出した複数の理学療法評価結果とその結果に対する解釈】

【それぞれの評価結果を組み合わせた際の解釈に関する説明】

【立案したプログラム内容とそれに至った過程に関する説明】

【実施した結果に対してどのように判断したか？→プログラム続行 or 変更の根拠】